

平林金属

# 非鉄仕分け用新設備

岡山・西大寺工場に導入 精度高め効率化

金属原料加工・販売の平林金属(岡山市北区下中野)は、非鉄金属の仕分けに用いる新設備を西大寺工場(同市東区西大寺新地)に導入した。形など3種類の選別機能があり、作業の精度アップと効率化につなげる。

西大寺工場は、自動車や家電などの破砕く

今回は4台ある選別機のうち1台を更新

従来の色、素材に反応するセンサーに加え、形を読み取るカメラ機能を備えており、ハーンネス(組み電線)などこれまで難しかった素材の処理も可能にした。コンベヤーなど設備も大型化し、処理能力も従来機の倍に高まった。投資額は非公表。

小型家電リサイクル法の施行(2013年)を受け、携帯電話やデジタルカメラなど回収する品目や量が年々拡大。現在の西大寺工場の処理量は開設時(07年)の倍にあたる年間約2千トまで伸びており、フル操業となっていた。

平林金属が西大寺工場に導入した非鉄金属選別の新設備



本城寛工場長は「金属だけでなく樹脂との複合素材も増え、分別

の工程が煩雑になってく」と話している。

平林金属は1960年設立、資本金9980万円、売上高約173億円(17年12月期)、従業員約330人(パート含む)。

(太田知二)